



歩行特化型デイサービスリアクラ



# 運営推進会議

第2回

2024/6/6



# 本日の次第

- ・ 事業運営の基本方針
- ・ 日常サービスの提供内容
- ・ 利用者の構成
- ・ 事故報告
- ・ 利用者の健康管理に関する取り組み
- ・ 地域での取り組み

# 事業運営の基本方針

- 要介護者の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう生活能力の維持または向上を目指し、必要な日常生活上の世話及び機能訓練の援助を行うことによって、利用者の**社会的孤立感の解消**及び**心身機能の維持**並びに利用者の**家族の身体的及び精神的な負担の軽減**を図ります。
- 豊田市、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、地域の保険医療・福祉サービス機関と連携を図り、総合的なサービス提供に努めます。



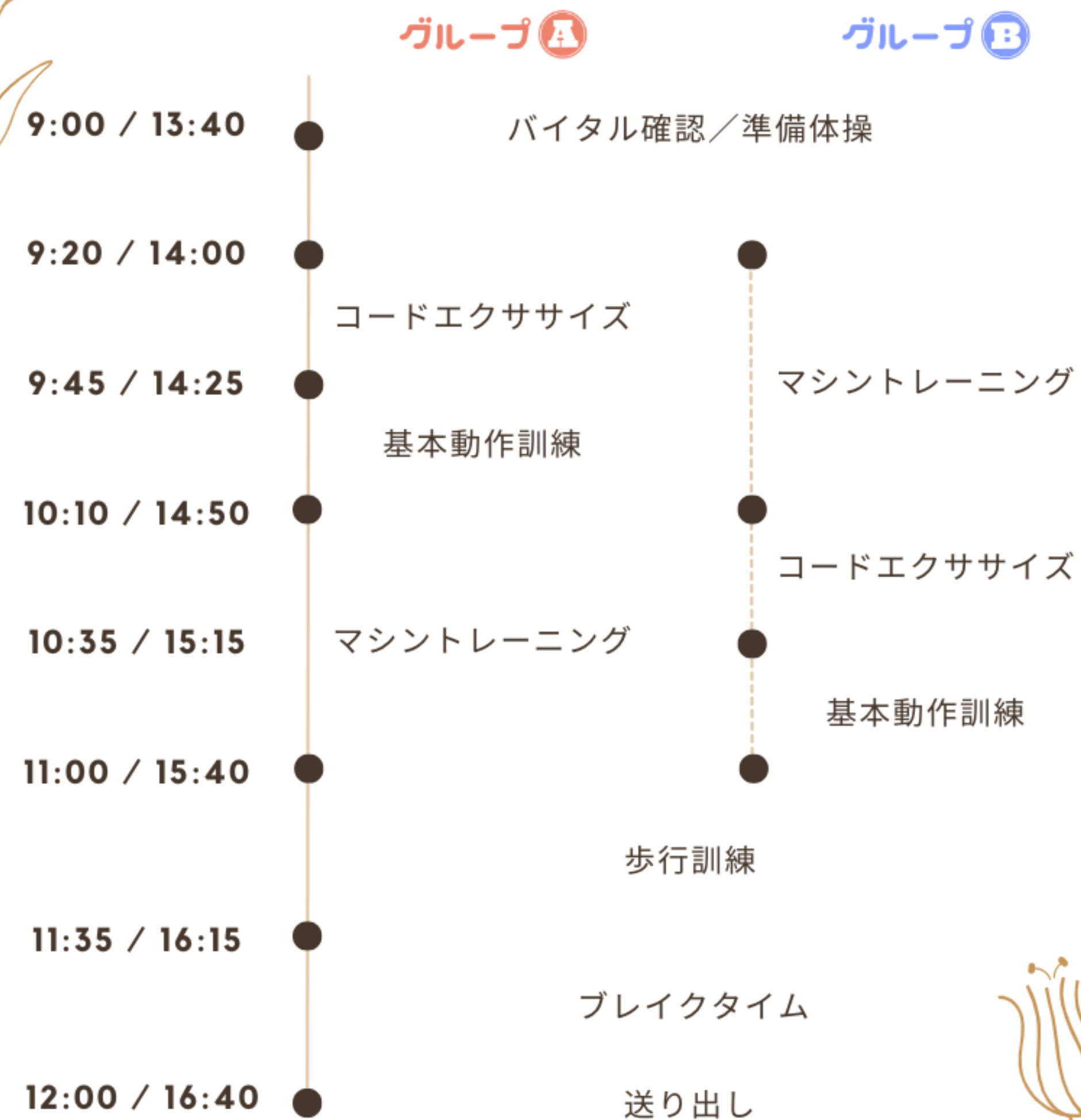
# 日常サービスの提供内容



# 日常サービスの提供内容

- 身体機能評価
- コードエクササイズ
- 基本動作訓練
- マシントレーニング
- 歩行訓練

## リアクラ 1日の流れ



各練習間で適宜給水や休憩をとり、個人のペースに合わせて行います！  
体調が良くない時は決して無理をしないようにしましょう！  
体調に異変を感じた際はスタッフにお声掛けください！

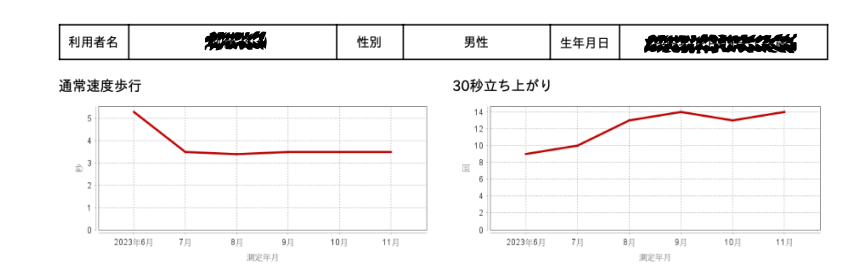
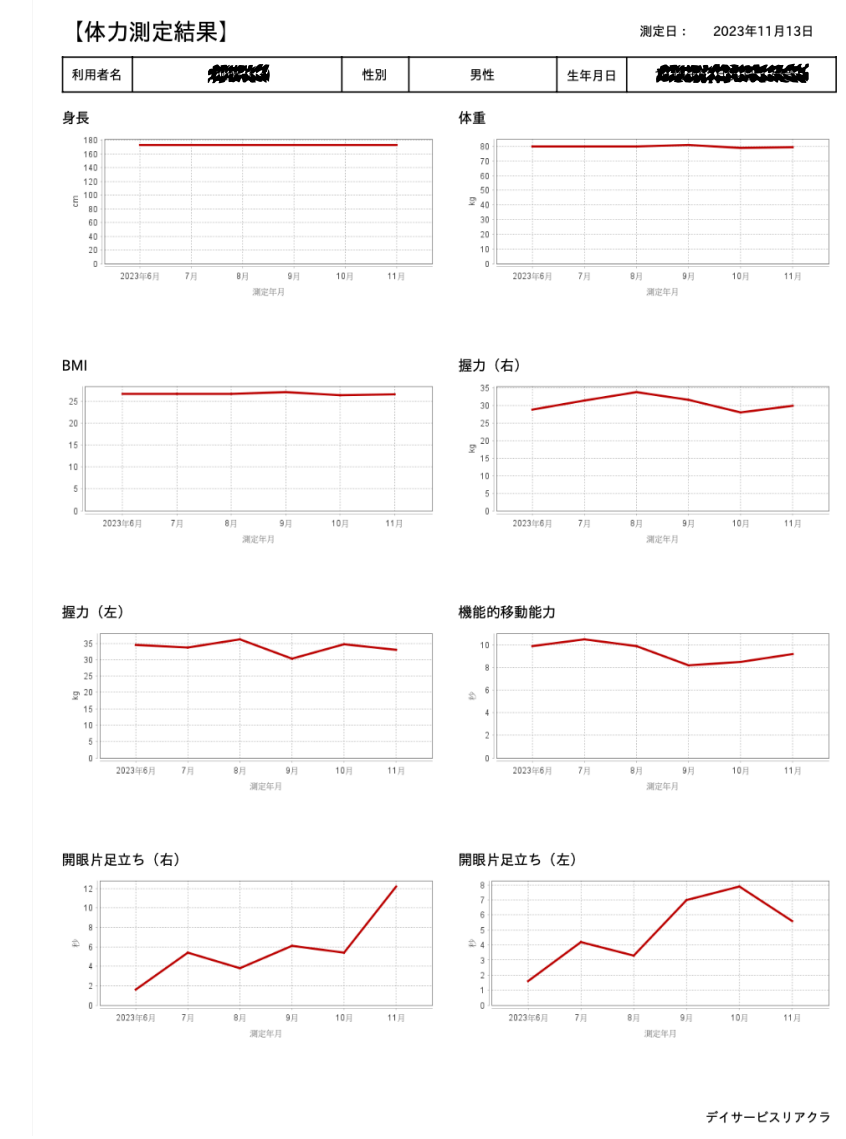
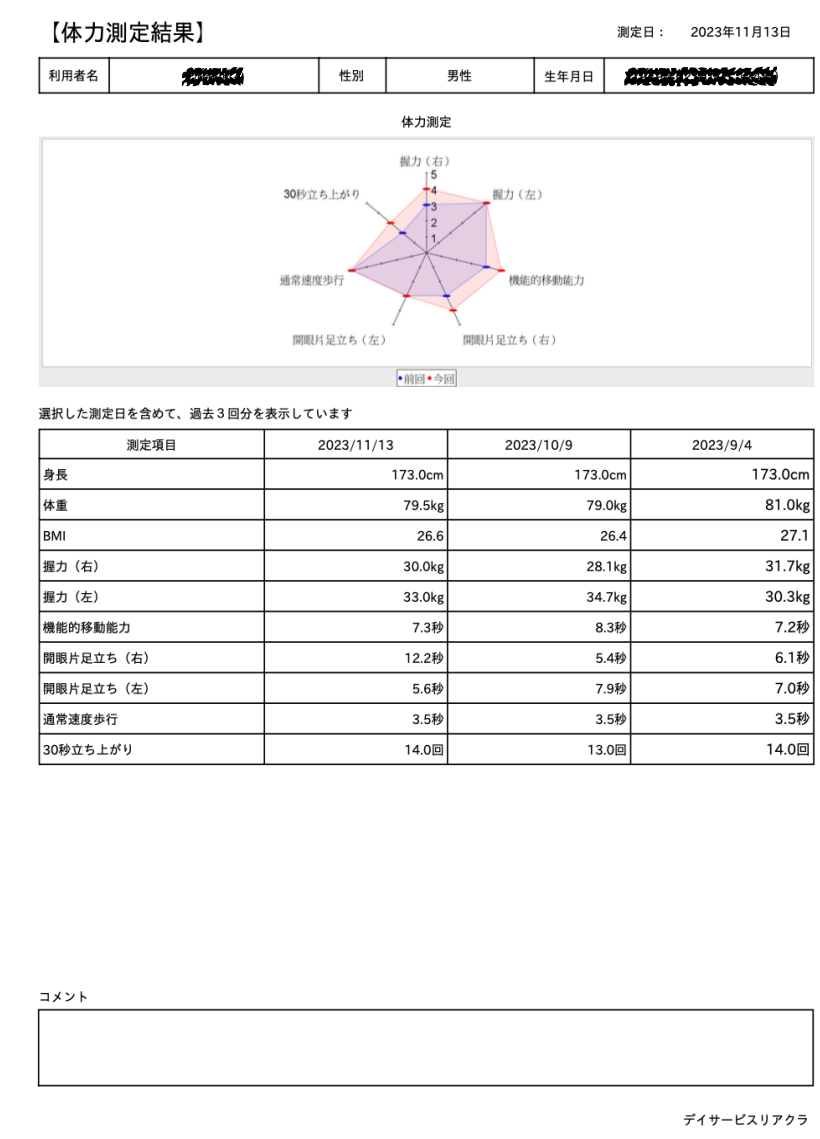
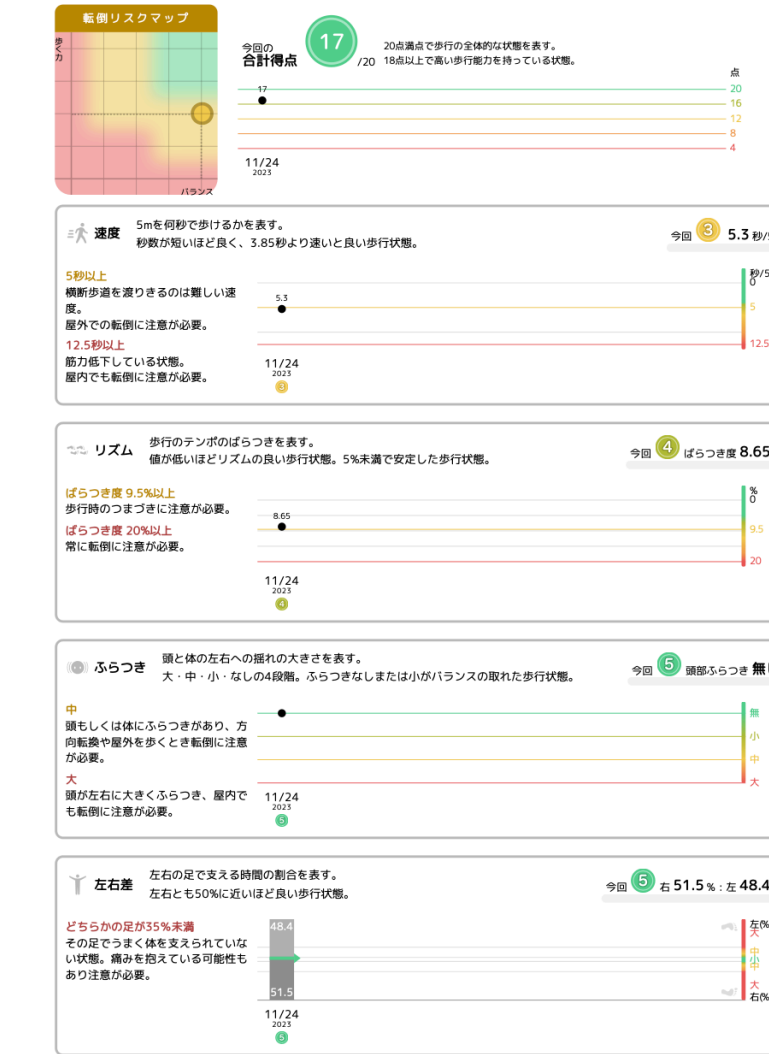
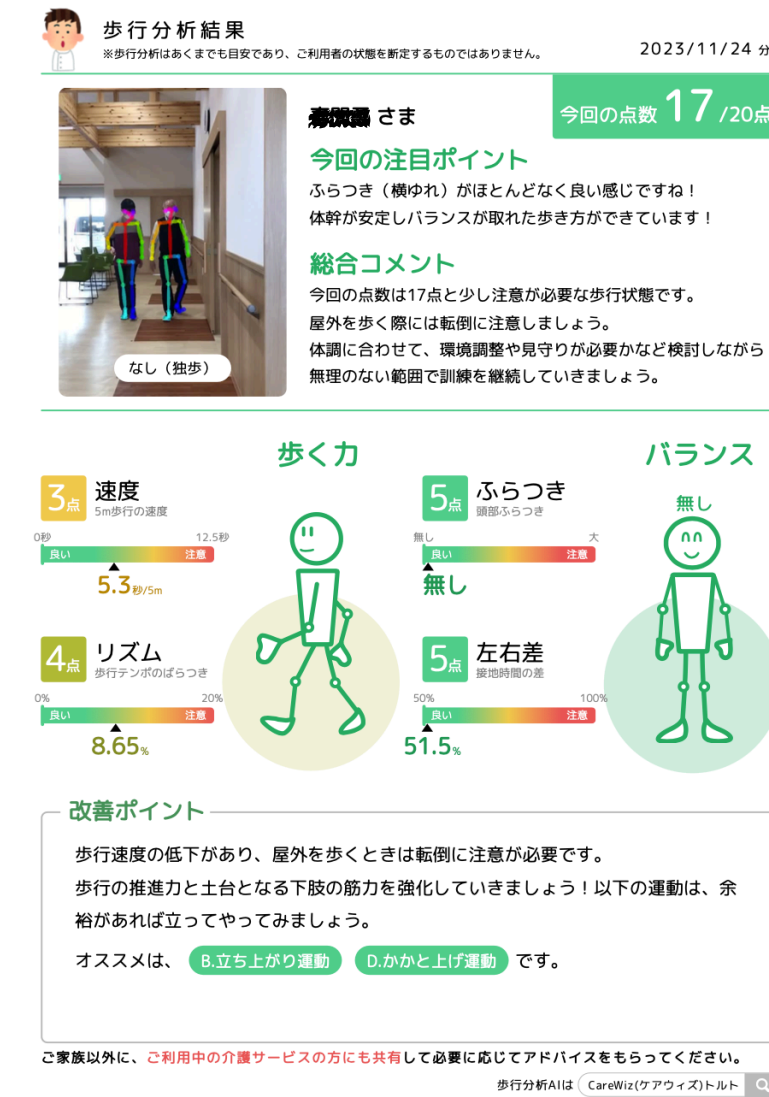


# 身体機能評価

- 月一回、全利用者の身体機能評価を行い、身体能力の推移を確認

- 日常生活動作の困りごとに対して、何を意識して行うと良いかのアドバイスを実施

- 適宜自宅状況の確認と助言の実践





# コードエクササイズ

- 20分間のエクササイズを実施
- 利用者の身体機能に合わせてグループ編成を行い、
  - ①起立/着座動作メニュー
  - ②立位バランスメニュー
  - ③歩行機能改善メニューを提供





# 基本動作訓練

- 歩行機能改善に必要な要素を分解し、個々の機能改善に必要な筋力訓練メニューを20分間で提供
- 背筋群を中心とした体幹の強化、抗重力筋である股関節伸展筋群／膝関節伸展筋群／足関節底屈筋群の強化を中心に実施
- 自宅でも行える内容に限定し、自主性の促しを行う





# マシントレーニング

- 45分間で2～3種の機器を各10分実施の目安で提供
- 個々の必要性合わせて療法士が機器の選択・設定を実施
- 筋力強化系2種、有酸素運動系2種、リラクゼーション系2種を組み合わせて提供





# 歩行訓練

- 30分間の訓練時間を6人以下の小集団で実施
- 歩行訓練メニューの中から個々のニーズに応じた指導を実施
- 歩き方の修正や転倒予防のための歩行訓練、実場面歩行のための屋外歩行を実施
- 屋外歩行は100m、400m、700mのコースを組み合わせて距離を調整

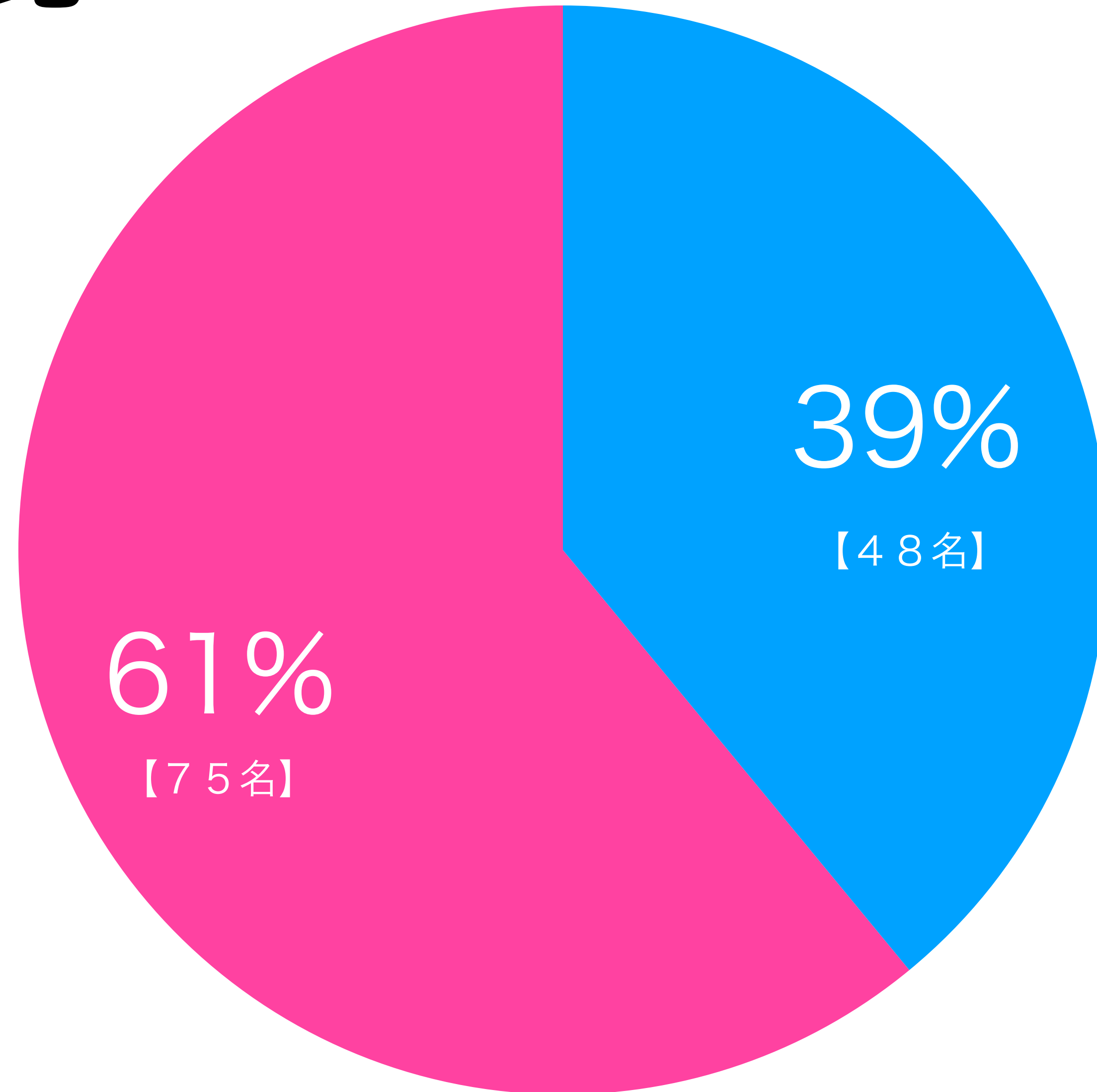




# 利用者の構成

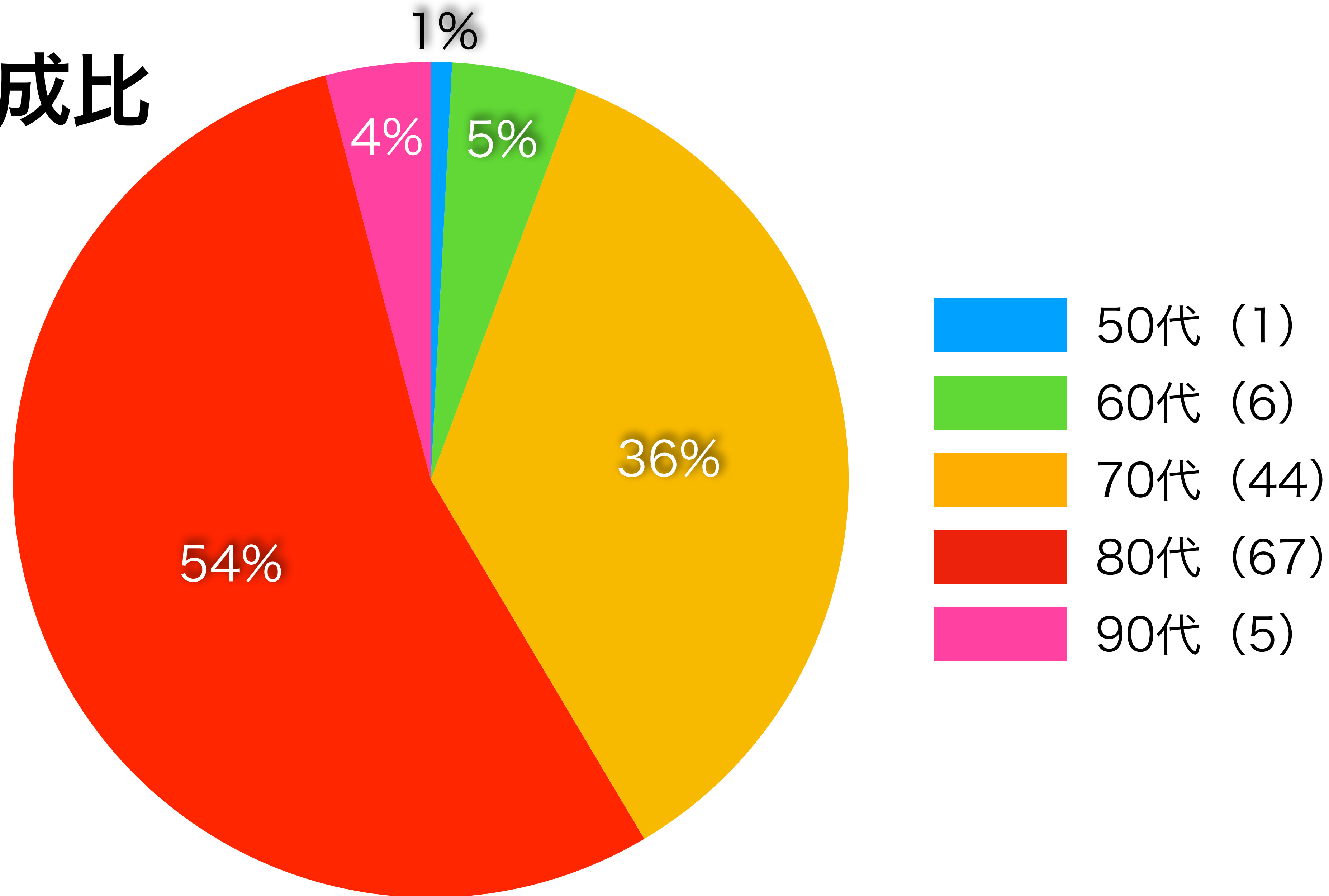


# 利用者男女比



契約者数：123名(5月末時点)

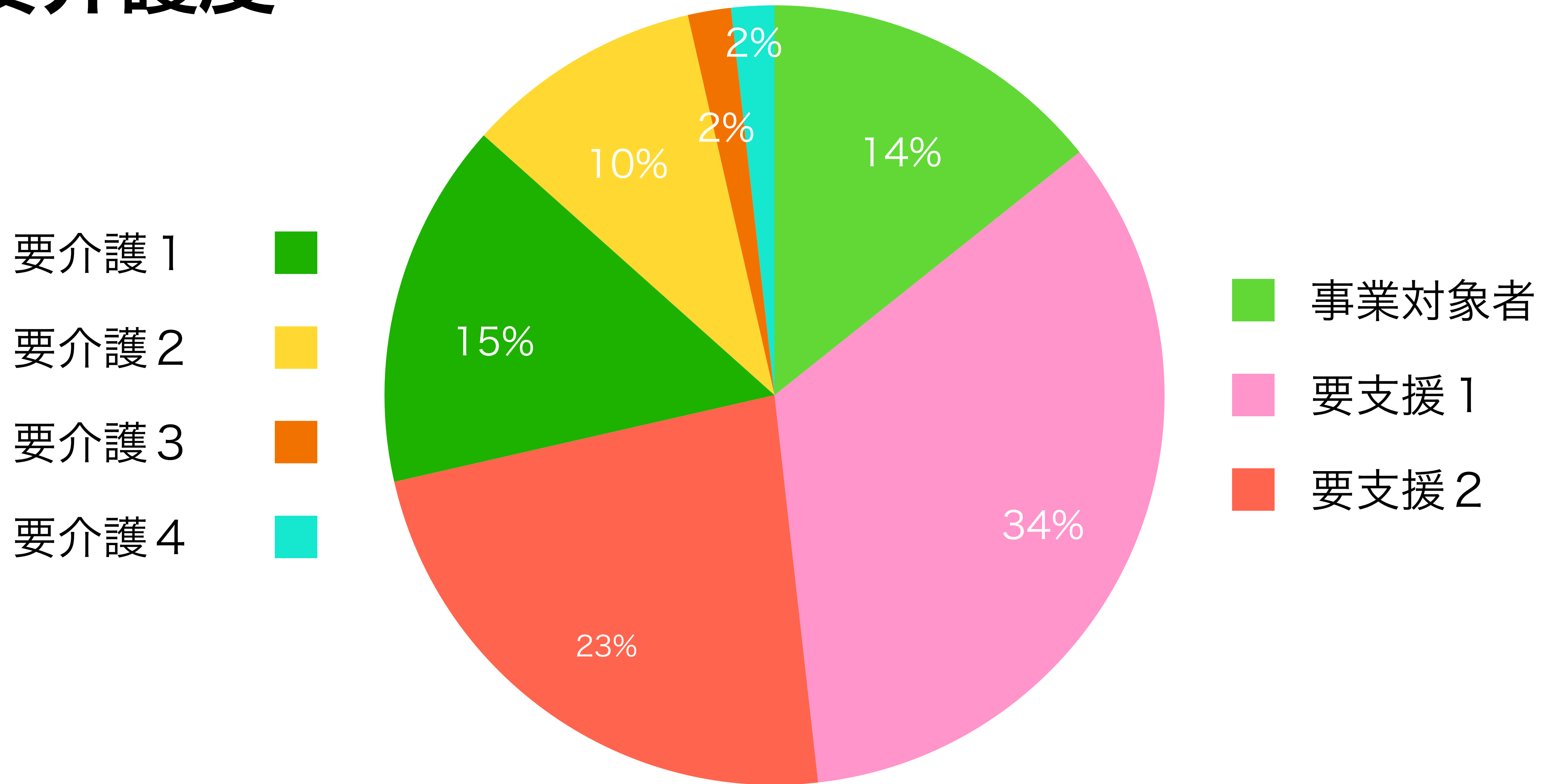
# 年齢別構成比



契約者数：123名(5月末時点)



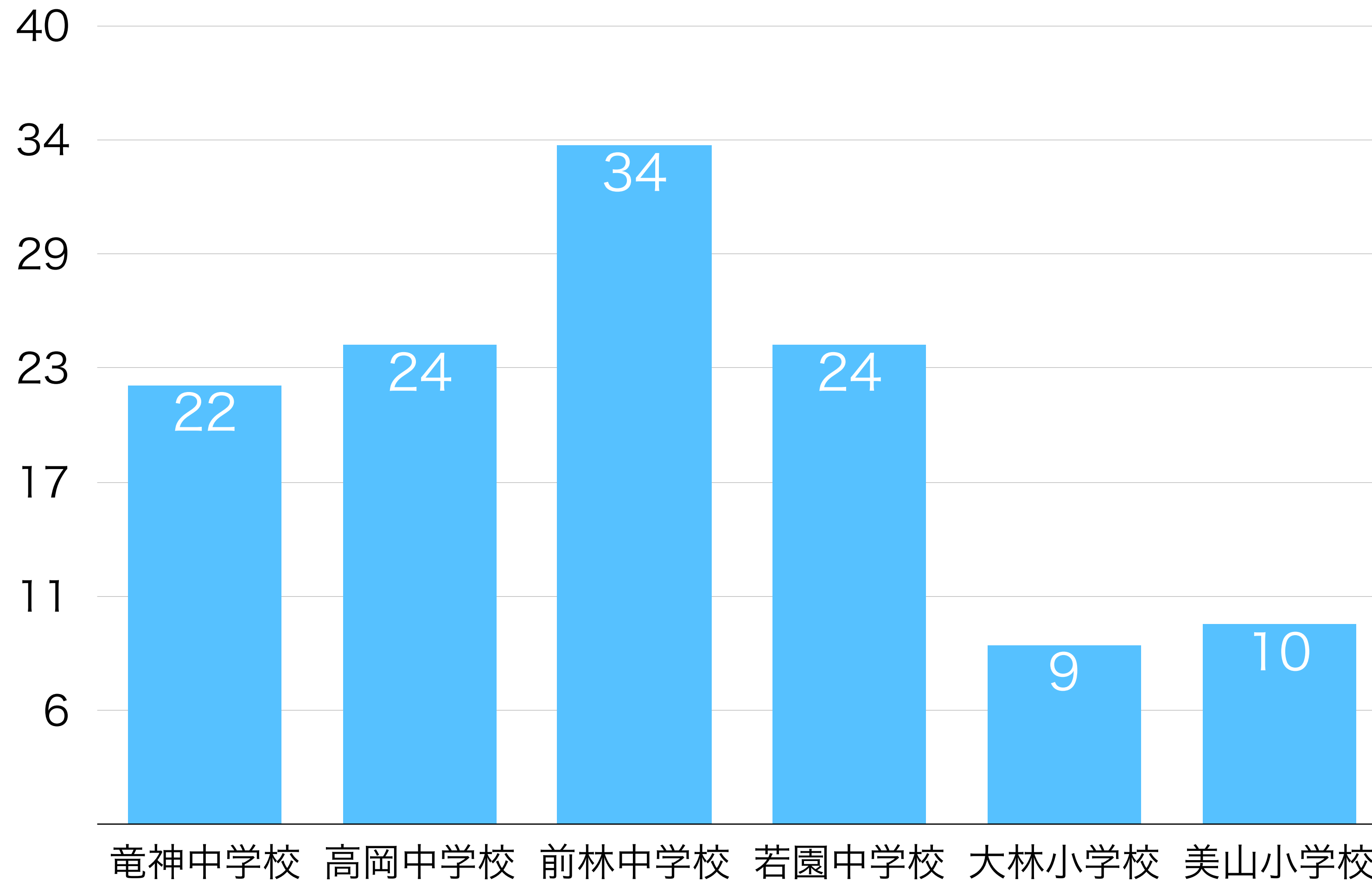
# 要介護度



契約者数：123名(5月末時点)



# 地域別利用者



契約者数：123名(5月末時点)

# 事故報告



日付	事故内容	是正案
12/19	U・K様送迎時、 駐車場内への駐車を試みたためにブロックに送迎車の左後方下部を擦ってしまう。	送迎時には車の向きに注意し、玄関に対して横付けできるような道で送迎を行う。慎重に運転を行う。
2/1	見学対応者の方の送迎予定を失念してしまった。午後利用者の計画書作成と契約の準備に気を取られていた。	見学対応者の予定について、LINE Worksの個人予定に反映させるようにし、通知を受け取れるように設定する。

日付	事故内容	是正案
2/21	<p>T・S様 歩行訓練でマットを跨ぐ課題を行なっている際、左脚が上がらずマットに引っかかりバランスを崩される。すぐにスタッフが支えたため転倒には至らず。</p>	<p>新しいメニューを提供する際には、こういったリスクがあるかを想定し、常に介助が行える位置・体勢で見守りを行う。</p>
2/28	<p>I・K様 サービス提供終了後、自己にて上着を取ろうとされ、立ち上がりの際にふらついて前に倒れそうになる。スタッフが支え、転倒はしなかった。かねてから付き添いを嫌がる方であった。</p>	<p>上着のお渡しは原則職員が行うことで統一する。嫌がられた場合も反応できる位置にいられるようにする。</p>



日付	事故内容	是正案
2/28	S・M様 マシントレーニング誘導の際、他利用者との絡みで誘導が円滑に行えず、利用者に不満を抱かせてしまう。	グループ全体のスケジュール管理を行い、利用者様が気持ちよくトレーニングできるよう調整していく。
3/6	T・T様 送迎車の3列目に乗り込む際、座席位置を把握できずに着座に失敗し転倒してしまう。スタッフは声掛けを行っていたが距離感が掴めていなかった。3列目に乗り込む際に2列目シートが双方とも前方に出されていた。	利用者が手をかけられるよう、シートは必ず片側操作とする。声掛けのタイミングは動作遂行時ではなく、事前に行うようにする。



日付	事故内容	是正案
3/28	<p>T・I様 歩行訓練中に床につまづくようにして膝折れした。2名体制で見守っていたが回避できなかった。</p>	<p>歩行訓練の見守りは、利用者のその時の体調や動きから起こりうるリスクを想定しておく。必要時には接触介助を行った李、動きを一度止めて注意を促すなどして対応を行う。</p>
3/29	<p>I・K様 サービス提供終了後、いすに座ろうとした際に肘掛けに手を伸ばすが届かず、後ろにバランスを崩す。背中が棚に接触し、ゆっくりと尻もちをついてしまう。</p>	<p>近位での見守りを拒否された場合でも声掛けを行い、何かあった際には対応できる位置で見守りを行う。</p>



日付	事故内容	是正案
5/24	<p>H・K様          帰りの送迎の際、1回ガレージへの駐車を行う。車輪止めがあることを確認してバック駐車を開始。後ろまで下がった時に後ろの壁に接触してしまう。速度は出ていなかったため利用者に怪我はなかった。</p>	<p>初めてのルートで余裕が無かったため事前のルート確認を徹底する。バック駐車する際は輪止めを過信せず、モニターにて後方を確認しながら駐車する。</p>
5/31	<p>T・K様          相談室からフロアに移動する際、杖を持ち椅子から起立されるが、不安定となり右側の壁に倒れこむようにして接触してしまう。</p>	<p>利用開始間もない方について、介助に入る際には情報を確認しておくようにする。介助位置について講習を行う。</p>



# 利用者の健康管理に対する取り組み

- 血圧の高値や関節痛、急激な体重増加がみられた場合の受診の促し。
- 熱中症予防としての提供サービス間での飲水の促し。
- 感染症予防として、飛沫感染予防としての施設内でのマスク着用の促し(マスクの着用は任意である旨をお伝えしていますが、ほとんどの方が着用されています)。接触感染予防としての手指消毒の促し、適切な手洗い方法の啓発。
- 感染症対策として提供単位毎の物品消毒作業の実施。
- トイレ内に手洗い啓発ポスターの掲示と見守り時の促しの実施。
- STによる口腔機能評価のための取り組みを開始。



# 地域での取り組み

# ①地域サロンにて、社会参加に資する取り組みとして介護美容についての広報の実施 (5/15)



# ②その中で歩行と健康の関係性についてのミニ講義で歩行習慣の啓発活動を実施 (5/15)

歩くためのPOINT

### 上手に歩くためのPOINTは？

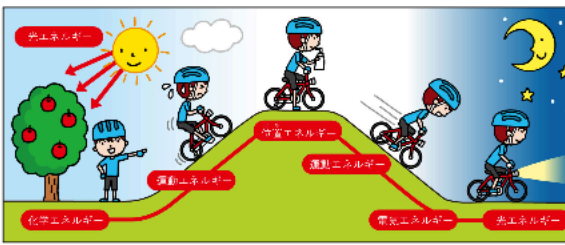
**楽に歩くためには可動域が大切！**

楽に歩くには足首、股関節、背骨、肩甲骨周りの柔軟性が必要です。上記の部分の可動域が少なくなるとバランスが取りにくくなったり、前に進む力が弱くなったりします。可動域の維持におすすめのストレッチ集を載せておきますので是非やってみてください。

**上手に歩くために意識すべきこと！**

歩く時には、下図の①と⑤のように、両脚で支えている時間が必ずあります。歩く時は必ずどちらかの足が地面についている状態になりますので、体重のスムーズな受け渡しがとても重要です。

この時、お尻の力や足首の力が不足していると、体重をしっかり受け渡すことが出来ず、体が横にふらついたり、ひどい場合には後ろにステップを踏んでしまったりします。ちょうど自



転車が坂を登る時(↑)のように、前に送り出した脚には力がたくさん必要になるのです。

支える脚がしっかりすることで、反対側の脚は楽に脚を前に送れるようになりますので、支える側の脚をしっかり使う動きが行えると、歩きやすくなります。

**歩き方のPOINTを確認！**

これらを踏まえて、歩く時は以下のことに注意できると良いです。

- ・力強く前に進む意識を持ちましょう
- ・踵から接地するように心掛けましょう
- ・足元ばかり見ないように気をつけましょう

それでは実践してみましょう。

let's WALKING !!

### 歩き方のPOINT

